

令和元年度 第1回中野市健康づくり推進協議会 会議経過書

令和元年7月4日(木)

午後1時30分～

会議室 43

- 出席委員 鈴木 章彦委員、高野 次郎委員、洞 和彦委員(山崎健康管理課長代理出席)、古田 充博委員(金山正太先生代理出席)、東本 雅之委員、上田 光郎委員、武田せつ子委員、小林貴三子委員、吉池 照子委員、島田 忠美委員、吉見 和彦委員、中島 一良委員(12名)
- 欠席委員 高橋 智子委員、神田 和貴委員、竹内 洋子委員、黒川 達也委員(4名)
- 事務局 太田健康福祉部長、小林健康づくり課長、小橋福祉課長、吉村高齢者支援課長、塚田健康づくり課長補佐兼母子保健係長、鈴木健康管理係長、池田保健医療推進係長、外山副主幹、高木主査(9名)

1 開 会 13:30 小林健康づくり課長(以後、進行)

2 あいさつ 太田健康福祉部長

- ・ 委員→事務局職員の順で自己紹介

3 協議事項

(1) 会長・副会長の互選について

会長：鈴木章彦委員 副会長：武田せつ子委員

(以後、進行は会長、副会長)

平成30年度の事業実施状況及び令和元年度の事業計画について

(説明者：小林健康づくり課長、小橋福祉課長、吉村高齢者支援課長) 別冊資料

- 鈴木会長 エンディングノートは全戸配布されたのか。
- 吉村高齢者支援課長 ホームページ、広報なかの4月号に掲載した。

(2) 「2019健康づくりフェスティバル・日野原重明先生記念講演会」開催要領(案)について

- ・ 日野原重明先生記念講演会について
- ・ 健康コーナーの運営について
- ・ 健康づくり実践賞について

(説明者：池田保健医療推進係長) 開催要領(案) 資料P1～6

健康づくりフェスティバルの講演会講師の候補について、平成30年度第3回健康づく

り推進協議会で篠原信一さんに依頼する方向で調整させていただき、本日の会議でお示しすることをご了承いただいていたのですが、交渉を進めてきた結果、5月末ごろにスケジュールが合わないことから、篠原信一さんに依頼することが困難な状況になりました。他に依頼できる講師の方がいないかと検討する中で、今年度、別途開催する予定であった日野原重明先生記念講演会の講師の候補であった音楽評論家・作詞家の湯川れい子さんに10月のスケジュールを確認したところ、10月19日（土）であれば開催可能と、内諾をいただけたため、2019健康づくりフェスティバルと日野原重明先生記念講演会を合わせて開催する方向で、今回提案させていただきます。

セレモニー及び講演会の会場を北信総合病院さくらホールとし、北信病院会場の駐車場は、北信病院が定める駐車料金が必要となります。

賞の授与では、今年度からこころの標語の募集は行わないため、健康づくり実践賞のみで予定しています。健康コーナーについては例年どおりで、講演会の講師については、日野原先生とゆかりのある方ということで、湯川れい子さんを選定しました。

昨年度に引き続き、講演会終了後、抽選会を予定しています。

健康づくり実践賞について多くの方の推薦をお願いしたい。また受賞者について、次回第2回推進協議会において決定する予定です。

- 吉池委員 昨年度、フェスティバルに参加したが、中高医師会、中高歯科医師会の健康コーナーで、希望者が断られている。時間を長くできないか。
- 高野委員 10年のうち8割参加しており、医師会は2人対応しているが、コーナーに訪れる人が少なく、待っている時間が多い。断っているということはないと思う。
- 金山先生 昨年度、多くの方に来ていただいて、歯科医師会のコーナーで診ることができない方がいたかもしれない。4人で対応し、例年は、全員診られるようにしている。
- 小林健康づくり課長 時間を変更することは考えていないが、来ていただいた方の満足度を高めるように工夫していきたい。
- 鈴木会長 健康づくりフェスティバルと日野原重明先生の記念講演会を合体させて開催することについて異論はないか。
→ なし

(3) 中野市自殺対策計画の策定について

(説明者：鈴木健康管理係長) 計画の策定について資料P1～3

- ・ 今年度計画を策定し、策定後は健康づくり推進協議会を含め、関係機関に状況を報告し、進捗状況を確認することとしている。

- 鈴木会長 本協議会の位置付けは。
- 小林健康づくり課長 パブリックコメントを聴取した後、市長決裁により決定しますが、パブリックコメントを出す前に最終原案を本協議会に示し、了承をいただく予定です。
- 鈴木会長 自殺対策は健康づくりに含まれるが、本協議会の範囲を超えている。社会を挙げて考えていかないといけない。

- 吉池委員 懇話会の委員に学校現場の人が含まれていないが。
- 太田健康福祉部長 委員には不登校の子どもの活動支援等をしていただいている NPO 法人は一むぼいすが含まれており、ご意見をいただけることになっています。
- 鈴木会長 自殺の問題は社会の歪の表れに他ならない。社会をいかに健康にするかが最終的な方向。中野市が住みやすい町であれば数は減っていく。計画を作らなければいけないからということでは意味をなさないので、大変だと思いが取り組んでもらいたい。

4 その他

- 吉池委員 高齢者支援課で発行している一人あたり 5,000 円の給付券（シルバー乗車券、温泉利用助成券）の平成 30 年度の利用状況・金額について、次回の協議会で説明してほしい。
- 池田保健医療推進係長
次回は 8 月下旬に開催したい。

5 閉 会 14:32